

インターネット技術とその応用論文特集の発行にあたって



インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 曾根 秀昭

インターネットは、社会基盤としての地位を確立し、様々なサービスや活動の基盤として生活や社会を大きく変化させる原動力として力強く発展してきた。その一方で、社会システムの中で基盤としての責務を果たすための安定性・発展性・経済性についての課題に直面するとともに、その基盤を豊かな社会生活や新しい産業の創出のために活用することを可能にする取組みも重要な課題になっている。

このような状況を踏まえて、インターネットをますます発展させ、このような社会的課題に 대응することを目的として、インターネット技術とその応用に関する最新のアイデアや取組み、成果を集め、広く共有し議論すべく本特集論文を募集した。御投稿頂いた29編にも及ぶ多数の論文に対して厳正な査読を行った結果、ネットワーク応用、ネットワーク技術、及び認証基盤などに関わる計12編の論文が採択された。また、2011年3月11日の東日本大震災において、インターネットなどの情報通信技術が社会基盤としてどのような役割を果たして、どのような課題があったのかを被災地からの視点で検証する論文を招待論文として寄稿頂いた。

本特集の13編の論文は、インターネット技術を共通

の研究分野としながら、これをサービスに応用するための技術からネットワークを構成し運用する技術まで、及びネットワーク応用を支える認証基盤技術を含む幅広い研究課題をテーマとして、著者の方々が得られた貴重な成果を論じたものであり、現在の研究の最先端の状況をよく表している。本特集がインターネット技術とその応用に関連する分野の研究開発のいっそうの発展に寄与できるものと信じる。

この特集の企画から発行にあたって、最新の成果を反映した原稿を御投稿頂いた方々、御多忙の中で論文査読に御協力下さった査読委員の方々、企画と編集に御尽力頂いた編集委員と幹事各位、並びに予定どおりの発行のために大変御支援頂いた事務局の方々に深くお礼を申し上げます。

ふね ひであき
曾根 秀昭 (正員：フェロー) 1980東北大学大学院工学研究科了。2001から東北大学情報シナジーセンター (2008サイバーサイエンスセンター)教授、情報科学研究科兼任。電子応用計測、環境電磁工学、ネットワーク応用及び運用管理などの研究と情報基盤の企画・運用などに従事。本会でEMD研究専門委員長、EMCJ、NS、SITE、IAなどの研究専門委員、和文B編集委員、特集編集委員長2回、特集編集委員16回。IEEE、計測自動制御学会、電気学会等々会員。

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長	曾根 秀昭
幹事	高倉 弘喜・吉田 健一
委員	池永 全志・岡村 耕二・福本 昌弘・松浦 知史
	吉田 和幸・永見 健一・野本 義弘・米田 進